

## 鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻博士前期課程教育に関する三つの基本方針

### ○卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

機能再生医科学専攻博士前期課程では、遺伝子医療や再生医療に関する研究や社会的ニーズを理解し、基礎研究の推進および医療現場や関連産業への応用に貢献できる人材の育成を目指します。この教育目的を踏まえ、学生が所定の科目を履修し、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに修士（再生医学）の学位を授与します。

1. 遺伝子・再生医学や先端医療を支える技術に関する深い専門的知識・技能を身につけ、研究者または高度な専門職業人としての能力を有している。
2. 基礎研究と臨床応用をつなぐトランスレーショナル・リサーチ（橋渡し研究）を遂行するための広い視野を身につけている。
3. 遺伝子・再生医学を担うものとしての高い倫理観と責任感を有し、人類、社会及び学術の発展に貢献することができる。
4. 遺伝子・再生医療の諸問題における様々な問題に挑み、これらの問題に対処するための高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を有している。

### ○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

機能再生医科学専攻博士前期課程では、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

#### 1. 教育課程・教育内容

遺伝子・再生医学に関する深い学識、再生医療やその支援システムの研究や技術開発に必要な基礎技術を習得できる専門教育科目とともに、幅広い医学と生命科学の知識を習得できる共通科目等による体系的な教育課程を編成します。

基礎研究と臨床の現場を橋渡しできる広い視野を身につけるための科目を配置します。

生命倫理の知識を習得し、研究遂行に必要な高い倫理観を身につけるための科目を配置します。

#### 2. 教育方法

講義、演習等を体系的に組み合わせた授業を通じて、高度な知識・技能の効率的な修得を目指します。

専門性の異なる複数の教員の研究指導により、高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力の修得を目指します。

#### 3. 学修成果の評価

研究科の定める成績評価基準に基づき、厳格な学修成果の評価を行い、研究科の定める学位論文審査基準に基づく修士論文の審査及び試験を実施します。

学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

## 鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻博士後期課程教育に関する三つの基本方針

### ○卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

機能再生医科学専攻博士後期課程では、遺伝子医療や再生医療に関する基礎研究の推進、その成果の医療現場や関連産業での応用を先導する人材の育成という教育目的を踏まえ、学生が、所定の科目を履修し、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに博士（再生医学）の学位を授与します。

1. 豊かな学識を有し、遺伝子・再生医学分野の高度な専門的知識・技能を身につけ、自立した研究者としての独創的な研究遂行能力または高度な専門性が求められる職業に従事する卓越した研究能力を有している。
2. 社会的責任感に基づく高い倫理観を有し、教育、研究、産業における指導的役割を担い、人類、社会及び学術の発展に貢献することができる。
3. 遺伝子・再生医学関連分野の基礎と応用を俯瞰する広い視野を持ち、これらが直面する様々な問題に対処できる専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を有し、専攻分野の研究や開発を国際的に先導することができる。

### ○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

機能再生医科学専攻博士後期課程では、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

#### 1. 教育課程・教育内容

幅広い医学と生命科学の知識、専門性の高い遺伝子・再生医学に関する豊かな学識、再生医療やその支援システムの研究や技術開発に必要な技術を身につけるため、専門科目と共通科目により専門的、体系的な教育課程を編成します。

生命倫理の知識を習得し、社会的責任感に基づく高い倫理観を身につけるための科目を配置します。

遺伝子・再生医学の基礎研究や臨床医学・産業界との橋渡し研究に必要な俯瞰的視野に立ち、課題の発見や問題解決を国際的に先導できる能力を身につけるための科目を配置します。

#### 2. 教育方法

講義、演習等を体系的に組み合わせた授業及び学内外の先端研究者による講義・セミナーを通じて高度な専門知識を習得します。

専門性の高い複数教員の研究指導により、専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を備え、自立して独創的研究を遂行できる能力を育成します。

#### 3. 学修成果の評価

研究科の定める成績評価基準に基づき、厳格な学修評価を行い、研究科の定める学位論文審査基準に基づく博士論文の審査及び試験を実施します。

学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。